

学校教育目標 「夢をもち世界にはばたく毛呂山のこども
自ら学び 共感し 行動できる生徒」

〒350-0465 人間郡毛呂山町岩井西4-12-1 TEL049-294-0019

＜戦争を知ることの大切さ＞

校長 上原 英樹

本日から令和5年度の2学期がスタートしました。夏休みは皆さんリフレッシュできましたか？学校ではあまりできない季節や自然を感じる体験をすることができましたか？重大な事故や事件に巻き込まれることなく、健康で過ごすことができていたら幸いです。2学期も新人体育大会や合唱コンクール、社会体験チャレンジ（1学年職場体験学習）、修学旅行（2学年）など大きな行事があります。各自が1学期の反省をふまえつつ、様々な事に目標を持ってチャレンジしてください。教職員一同もできる限りのサポートをしていきます。充実した2学期にできるよう努力していきましょう。

さて、日本の8月には全国的に黙祷をささげる日が3日間あります。何日か覚えているでしょうか？①8月6日広島原爆の日、②8月9日長崎原爆の日、③8月15日終戦記念日があり、今年で78年の月日が経過しました。今年は台風の影響もあり、戦争の過ちを繰り返さないことを誓う、慰霊式典などが縮小されるなど大きなニュースとして取り上げられることが例年より少なかったことが残念でなりません。さらに、戦争を体験した方々が高齢となり、体験談を語れる方が少なくなっている現状もあります。しかし、最近の傾向としてロシアのウクライナ侵攻のニュースを目にした戦争体験者が、今まで戦争の悲惨さやむごたらしさを自ら語ることを避けてきた方々が、日本で戦争を繰り返してはならないという使命感から、新たに語り始める方が増えているそうです。皆さんは戦争体験者の話を聞いたり、戦争にまつわる記念館等を訪問したことがありますか？私は父親が戦争を体験していたため、「子どもの頃、庭で遊んでいたらアメリカの戦闘機が屋根の近くまで降下してきて機関銃をダダダダと自分たち目がけて撃ってきたんだ。すかさず頭から防空壕に飛び込んで間一髪助かることができた」「家の近くの川を B29爆撃機が飛行場の滑走路と間違えて爆撃していた」などの体験談を聞き、もしその時に父親が亡くなっていたら、今の自分は生まれてなかったんだとショックを受けた経験があります。また、広島原爆資料館では高温の熱線により溶けた人の影が黒く染みついた建物の石を実際に目にし、言葉にならない衝撃を受けました。さらに長野県上田市にある戦没画学生慰霊美術館の無言館を訪れた際も、戦争のために、大好きな絵を描くことを取り上げられ、戦場へ向かい、戦死し、多くの未完成の絵画が展示されている状況を目の当たりにし、さぞかし無念だったろうと知らず知らずのうちに涙を流していたのを記憶しています。戦後78年間、日本は戦争に巻き込まれることなく平和な発展を遂げることができました。そこには戦争を体験し、辛く、みじめな思いを多く経験した方々の「二度と同じような戦争を繰り返してはならない」という強い思いの積み重ねが大きく影響しているのだと感じています。ドイツ元大統領のワイツゼッカーさんの言葉に「過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目となり、同じ過ちを繰り返す」というものがあります。平和な日本を継続させるには、戦争を知らない若い世代に、戦争の何たるかを語り継ぎ、風化させない努力が今後も重要であると感じています。